

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) ソフトバンク株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 105-7529 東京都港区海岸一丁目7番1号	
本票作成	部署名：CSR本部 エネルギー管理担当				
主たる業種	分類コード	37	業種名：通信業		
事業の概要	・移動体通信事業およびこれに付随する業務等 ・固定通信事業およびこれに付随する業務等 ・インターネット通信事業およびこれに付随する業務等				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	基地局_岡山県		岡山県内全2459箇所(2025年3月現在)	
	②	基地局WCP_岡山県		岡山県内全629箇所(2025年3月現在)	
	③	通信センター(全9箇所)		岡山県内全9箇所(2025年3月現在)	
	④	岡山フコク生命駅前ビル		岡山市北区駅元町1番6号	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 3,098 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス 排出量	基準年度 (令和 5 年度)	(令和 6) 年度排出量	目標年度(令和 7 年度)
	15,080 t CO ₂	14,081 t CO ₂	16,626 t CO ₂
主な工場等 の排出量	番号	工場等の名称	(令和 6) 年度排出量
	①	基地局_岡山県	11,509 t CO ₂
	②	基地局WCP_岡山県	1,621 t CO ₂
	③	通信センター(全9箇所)	937 t CO ₂
	④	岡山フコク生命駅前ビル	14 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の 達成状況	計画期間： 令和 6 年度 ～ 令和 7 年度 (2 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(6) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	22.6 %	24.1 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準 の削減目標を 選択している 場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 弊社は通信事業者であり、通信設備が主な電力消費設備である。そのため通信設備の電力消費に関連性が深い原単位分母として、ネットワークセンターでは通信トラフィック(Gbps)、基地局では基地局トラフィック(Gbps)、オフィスでは延床面積(m ²)、データセンターではUPS電力(MWh)を指標とする。これらの設備種別別にCO ₂ 排出量を分子、指標を分母として、CO ₂ 排出量に基づく寄与度計算をして、基準年度と比較する。	原単位当たり排出量		
		基準年度	(6) 年度	目標年度
		100.0 t CO ₂ /(%)	77.4 t CO ₂ /(%)	75.9 t CO ₂ /(%)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 6 年度)	達成率等
指標の状況				

【削減状況の自己評価】

2023年度比6.6%の電気使用量削減を実現したが、原単位では目標削減率未達となった。
通信事業者として、AIの活用の拡大に伴う通信トラフィック量増大に対応すると同時に、CO₂削減取組みを常に推進していくことが必要であると考えている。そのために、設備の新設・更新時のエネルギー効率化をはかるとともに、オフサイトPPAの導入を計画するなどの再生可能エネルギーの活用を積極的に推進する。

【推進体制】

- ・ 全社横断組織である「環境委員会」を中心に継続的な環境改善（PDCAサイクル）を推進した。
- ・ 環境委員長を省エネ法におけるエネルギー管理統括者とし、全社的な環境保全活動を推進した。
- ・ ISO14001の取得による継続的な環境マネジメントを実施。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
オフィス	(令和6年度実施分) ・ 室内照明・空調の適切な制御によるエネルギー削減（人感センサー等の活用） ・ 環境保全に関する社員啓発活動の実施(Eラーニング等) ・ 「COOL CHOICEキャンペーン」の社員への周知、クールビズ・ウォームビズの推奨 ・ エネルギー効率の高い設備への更新と新設の推進 ・ 基地局で使用している90%以上の電力使用量で再生可能エネルギーを使用 ・ エネルギー効率の高い設備への更新及び老朽化設備早期サービス停止。 ・ 設備運用状況に応じた空調設備の適性運転により、効率的な電力使用を継続する。 (今後実施予定分) ・ 室内照明・空調の適切な制御によるエネルギー削減（人感センサー等の活用） ・ 環境保全に関する社員啓発活動の実施(Eラーニング等) ・ 「COOL CHOICEキャンペーン」の社員への周知、クールビズ・ウォームビズの推奨 ・ エネルギー効率の高い設備への更新と新設の推進 ・ 基地局で使用している90%以上の電力使用量で再生可能エネルギーを使用 ・ エネルギー効率の高い設備への更新及び老朽化設備早期サービス停止。 ・ 設備運用状況に応じた空調設備の適性運転により、効率的な電力使用を継続する。
携帯電話基地局設備	
通信センター	
オフィス	
携帯電話基地局設備	
通信センター	
オフィス	
携帯電話基地局設備	

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

さまざまなAI技術の活用・提供によるエネルギー利用の最適化や、携帯電話リサイクルの推進、植林等を積極的に行う。
また、オフィスにおける節電やクールビズ推奨によるエネルギー削減を推進する。